

法政大学出版局◎2024年書物復権復刊書目決定!!

毎年恒例の〈書物復権〉共同復刊、2024年は第28回を数えます。決定した復刊書目は、10社で38点39冊と、充実したリストをそろえることができました。小局は以下の5点を復刊致しますので、店頭にて展開いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

帖合	部数	法政大学出版局 2024年5月16日配本 定価3080円(本体2800円+税) J. デリダ 著/堅田研一 訳 法の力 〈新装版〉 「脱構築は正義である」の宣言のもと、法/権利を越えた正義の観点からナチスによる「最終解決」に極まる法の暴力を批判。またハイデガーやベンヤミンの「破壊」のもつ問題点を抉り出し、それらと脱構築との差異を明確に論じたデリダの「政治哲学」。	四六判上製・230頁 《叢書・ユニベルシタス 651》 ISBN978-4-588-09939-7 C1310 【哲学・思想】
帖合	部数	法政大学出版局 2024年5月16日配本 定価5500円(本体5000円+税) ジル・ドゥルーズ 著/工藤喜作、小柴康子、小谷晴勇 訳 スピノザと表現の問題 〈新装版〉 スピノザの体系の起源と形成および理解のために、存在論的かつ認識論的な射程をもつ〈表現〉という概念の重要性に注目し、これを徹底的に追及することによって、その力動的な本質を明らかにする。スピノザを静的と見なす従来の解釈を逆転させ、現代のスピノザ・ルネサンスをリードした革新的研究。	四六判上製・460頁 《叢書・ユニベルシタス 321》 ISBN978-4-588-09978-6 C1310 【哲学・思想】
帖合	部数	法政大学出版局 2024年5月16日配本 定価5280円(本体4800円+税) B. バーンステイン 著/久富善之、長谷川裕、山崎鎮親、小玉重夫、小澤浩明 訳 〈教育〉の社会学理論 〈新装版〉 日本教育は明らかに行き詰まっているが、何がどうそうなのかを分析する理論用具を我々は持っていない。世界的な教育社会学者バーンステインの1980-90年代における理論の集大成であり、〈教育〉(ペダゴジー)というものの存在と営みについて、その歴史的社会的性格の社会的解明を目指すとともに、日本教育分析に必要な用具と着想を与えてくれる。	四六判上製・418頁 《叢書・ユニベルシタス 694》 ISBN978-4-588-09948-9 C1337 【教育】
帖合	部数	法政大学出版局 2024年5月16日配本 定価3520円(本体3200円+税) ジョン・トビー著/藤川隆男 監訳 パスポートの発明 監視・シティズンシップ・国家 フランス革命以後、国家が国民の移動手段を合法的かつ独占的に掌握するのに決定的な役割を果たしたのがパスポートであった。本書は、近代以降のヨーロッパ各国およびアメリカの事例を具体的にあげながら、地方自治体や封建領主等から国家へと、合法的な移動手段が奪い取られていくプロセスを描き出し、パスポート制度という国際的なシステムの確立とその現代的な意味を問う。	四六判上製・324頁 《サビエンティア 4》 ISBN978-4-588-60304-4 C3330 【法律・政治】
帖合	部数	法政大学出版局 2024年5月16日配本 定価3630円(本体3300円+税) ナンシー・フレイザー 著/向山恭一 訳 正義の秤(スケール) グローバル化する世界で 政治空間を再想像すること 正義の秤=尺度をめぐる二つのイメージ。ひとつの難題は、再分配か、承認か、代表かという「なに」をめぐる競合する見解から生じる。もうひとつの困難は、領域化された市民か、グローバルな人類か、国境横断的なリスクの共同体かという「だれ」をめぐる対立するフレーム化から生じている。本書は、これらの難題をえぐり出しつつ批判理論化のもとで統合し、正義の理想を追究する。	四六判上製・304頁 《サビエンティア 27》 ISBN978-4-588-60327-3 C1330 【哲学・思想】

ご担当者様 氏名: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名をご記入下さい。

* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせください。次回以降訂正いたします。

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542